

知立市の小中学校 令和7年度の挑戦

知 育 立 志

知ろうとする探究心を育て 志を立てたくましく歩む子を育てる

令和7年度 学校教育方針

- 1 確かな学力を育む教育を進める。
- 2 豊かな人間性を育む教育を進める。
- 3 健康や体力を育む教育を進める。

令和7年度 重点努力事項

1 確かな学力を育む教育

学ぶことに興味関心を持ち、個性を生かして他との協働によって考えを深め、知識や情報を関連付けて課題を解決する姿勢を育むと共に、個々の能力や適性に合わせた学習を行うことにより、思考力、判断力、表現力等の向上を図る。

2 豊かな人間性を育む教育

人権教育や道徳教育、多様な体験活動を充実させることにより、自己肯定感を高め、自他を大切に育む姿勢を育て、いのちを尊ぶ態度、多様な考えを受け入れる姿勢、規範意識の高揚を図る。

3 健康や体力を育む教育

心身の健康、食や体力に対する意識を高め、望ましい食生活や運動の習慣化を図ることにより、生涯にわたって安全で健康的な生活を営む資質の育成を図る。

4 きめ細かな指導の充実

一人一人の教育的ニーズに即した指導を進めるために、少人数指導や特別支援教育・外国人児童生徒教育等の指導法を工夫し、教育環境の充実を図る。

5 学校・家庭・地域との連携の推進

地域に根ざした特色ある教育活動を実施するために、学校・家庭・地域との連携を密にしてコミュニティ・スクールの組織を構築し、積極的に情報発信を行うとともに、保護者、地域人材の教育活動への参画の推進を図る。

6 教職員の資質向上と働き方改革の推進

教職員の自己研鑽を支援し、研修の機会を創出するとともに、教育活動の多面的な見直しと望ましい働き方の実現を図る。

知立小学校

校長 伊藤 雅彦
児童数 812 人
学級数 30 学級

本校の特徴

150年以上の長い歴史を誇る学校であり、地域の心のよりどころとして、学校に寄せられる期待は大きく、地域と連携して教育活動に取り組んでいます。
昭和50年度に始まったおあさご運動(おはよう ありがとう さようなら ごめんなさいのあいさつの頭文字)は50年を迎えます。あいさつする気持ちを大切にしています。

今年度の挑戦

「笑顔あふれる学校」の実現をめざし、生きる力を育む教育活動に取り組めます。

○主体的な学びのできる子の育成

豊かな体験活動とおして、問題解決の過程を重視し、子どもたちが「分かった」「おもしろい」と実感できるように学習展開の工夫を図ります。また、デジタル・シティズンシップ教育を基に、よりよく社会に参加、発信する能力を高めます。

○心と体を育む活動の充実

人権教育を礎に、命を大切に、他人を思いやる心を育て、「おあさご運動」(あいさつ運動)やあたたかみ態度と言葉、やさしい日本語を大切にすることを育てます。また、生涯にわたって安全で健康的な生活を営んでいくたくましさを目指します。

○地域から大切にされる学校・地域を愛する子どもたちを育てる学校

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の活動を中心に、社会に開かれた教育活動を展開します。子どもの学びを学校・家庭・地域が連携して支え育てていきます。地域を愛し、地域の未来を自分事として考えることができる子を育てます。

知立西小学校

校長 丹 節生
児童数 535 人
学級数 21 学級

本校の特徴

開校52年目。45分放課を生かした「なかよし活動」(異学年集団活動・縦割りグループ活動)、「食まるファイブ」を活用した食育、他のかかわり合いを通して学習活動によって、豊かな人間性の育成に取り組んでいます。

今年度の挑戦

自他を大切にし、何事にも挑戦する「たいようの子」が育つ学校

○「確かな学力」の育成

体験活動を生かした学習活動を推進し、学びへの意欲を高め、学力の定着を図ります。

○「豊かな心」の育成

教育活動全体を通して、道徳教育・人権教育等の充実を図り、「豊かな心」を育みます。

○「健康やかな体」の育成

外遊びや食育を通して、「健康やかな体」を育みます。

○「あたたかい人間関係」の構築

困ったときには、ためらわずに周りに助けを求めたり、互いに励ましあったりすることができる人間関係づくりを進めます。

八ツ田小学校

校長 鈴木加代子
児童数 390 人
学級数 18 学級

本校の特徴

開校50年目。(昭和51年開校)八ツ田式学級力向上プロジェクトを学校力に発展させ、安心して過ごせるクラスや学校づくりに力を入れています。笑顔があふれ、美しい歌声が響き渡り、地域・外部講師の方々とのつながりを大切にした活動を行っています。

今年度の挑戦

「つよく(健)正しく(正)美しく(美)」を根底に、「自ら取り組み、最後までやりぬく子」を育成します。

○一人一人を活かし、一人一人が活躍する学校

子どもたちのよさを生かした活動により、自らの価値や成長を感じられるようにします。また、人と人とのつながりが感じられる場を積極的ににつくり、クラスの仲間づくりを、学年、学校全体に広げ、つながりを通して「あたたかい学校」づくりを進めます。一人一人のもつ、個性やよさが互いにひびき合い、自己の有用感や成長を感じられる学校を目指します。

○「あたたかい学校」あいうえお

「あ」いさつ 「い」のち 「う」たごえ 「え」がお 「お」もいやり を合言葉に、あたたかい人間関係を育みます。

○学級力向上プロジェクト

自分たちの考えで、クラスをよりよい方向へ作り上げていく学級力向上プロジェクトを人間関係づくりの中核とし、互いを尊重しながら成長できる学級づくりを行います。その中で、「他者意識」「自己有用感」「自己肯定感」「成就感」を高めます。

知立南小学校

校長 大島 稔
児童数 708 人
学級数 28 学級

本校の特徴

昭和54年4月に市内7番目の小学校として開校し、47年目を迎えます。子どもたちの笑顔と健康な成長を願い、コミュニティスクール(みな丸会)を中心に学区三町(谷田・新林・西中)と連携して、地域・保護者・学校が一体となった活動を推進していきます。その1つとして、アサギマダラが舞う学校を目指し、環境整備を進めていきます。

今年度の挑戦

○確かな学力を育む教育

授業の中で、対話や体験、本物に触れる活動を大切に、子どもたちの豊かな感性を育む教育活動の充実を目指します。

学習意欲の向上、基礎基本の定着、子どもたち同士が関わり合い、認め合い、互いに学び合う授業の充実を目指します。

○豊かな人間性を育む教育

子どもたちが、他者や集団との関係の中で、自分の存在を価値あるものとして受け止められるよう、体験活動や子どもたちが中心となった活動、異学年交流等を推進していきます。

関わり合う時間(南つ子タイム)を定期的に計画して、子どもたちのより良い人間関係形成を目指していきます。さらに、人権教育をより重視し、自他の命を大切にできる態度を育成します。

○学校・家庭・地域との連携推進

地域と協働し、地域のよさを生かし、外部指導者や外部ボランティアを積極的に活用して、地域を愛する自主的・実践的な態度の育成を図ります。

猿渡小学校

校長 杉浦 正明
児童数 394 人
学級数 17 学級

本校の特徴

南に猿渡川が流れ、東に「弘法さん」遍照院と昔ながらの味わいのある弘法通、西に「パティオ池鯉鮒」知立市文化会館、北に消防署などの施設があります。人情味あふれる地域の中で「まじめに 明るく がんばる」の校訓と、学校・家庭・地域の連携を大切にしている教育活動に取り組んでいます。

今年度の挑戦

「主体的に学ぶ、心豊かで、元気な子供」の育成を目指します
○学校が安心して過ごせる場所となる「居場所づくり」の推進
児童一人一人の言動を学級担任を中心とした全職員のチーム体制で注意深く見守り、個の特性の理解を図ります。
児童が学ぶことに興味・関心を持ち、他との協働によって個々の考えを深め、課題を解決する「分かる できる 楽しい授業」づくりに努めます。
○社会性を身に付ける「絆づくり」の推進
児童が互いをよく知り、それぞれの力を発揮しながら尊重し合い、ともに成長する喜びを実感できる集団づくりを推進します。
○心身の健康と体力向上の推進
道徳科の学びや体験活動を通して、他者の主体性を尊重しながら自らの行動を判断し、実行する力を育む教育活動を推進します。
体育科授業の工夫や「猿渡っ子体操」の活用、委員会活動を通して外遊びの推奨を図ります。

来迎寺小学校

校長 吉富 靖
児童数 569 人
学級数 22 学級

本校の特徴

市の北東部に位置し、今年度は開校152年目を迎えます。遊歩道沿いの桜並木、校庭のくすのきがシンボルの伝統ある学校です。
今年度からコミュニティ・スクールが始まります。学校と地域等との相互理解や信頼関係を深め、児童の豊かな成長を支えます。

今年度の挑戦

来迎寺スタンダード(①②③④)を通して、未来を担う子の資質・能力を育てます。今年度は、特に「①確かな学力の育成」について、協働学習を通して充実させます。また、コミュニティ・スクールを通して、家庭や地域等との相互理解や信頼関係を深め、「地域とともにある学校」を目指します。
重点目標
① 確かな学力の育成(知)「わくわく」学びづくり
「学ぶ楽しさ」や「分かるうれしさ」を実感できるよう、仲間と学び合い高め合う協働学習を推進するとともに、ICTを効果的に活用し、個別最適な学びの実現に努めます。
② 豊かな心の育成(徳)「いきいき」心づくり
道徳教育や体験・交流活動の充実を通して、自他の生命を尊重する心や、多様な考えを受け入れ尊重する心の育成、あいさつの奨励を進めます。
③ 健康やかな体の育成(体)「すくすく」体づくり
自らの体づくりや食生活に関心を持ち、生涯にわたって自らの健康を適切に管理・改善していく資質や能力を養います。
④ 自己肯定感の育成「どきどき」絆づくり
互いを認め、共感し合いながら温かい人間関係をつくる教育活動を進めます。

知立東小学校

校長 小川 桂
児童数 274 人
学級数 17 学級

本校の特徴

昭和42年4月に開校し、今年度で、59年目を迎えます。「なかよく つよく こんきよく」を校訓に、異なる文化的背景をもつ子どもたちが一人一人の個性を大切にしながら関わり、共に高めていく教育を進めています。

今年度の挑戦

様々な教育的機会を通して、多様な背景をもつ子ども同士や地域・外部の方と関わる場を設け、思いを交わし、認め合い、刺激を受け、次に生かそうとする心を育み、「子どもたちの笑顔がはじける学校」を目指します。
○確かな学力
多くの教員で子ども一人一人に応じたきめ細かな指導を行うことに加えて、体験的な活動やICT機器のさらなる活用を増やして、表現力・判断力・応用力の育成に努めます。
○共生・連携
愛知教育大学と連携した共生教育を進めつつ、異学年交流や行事等を通して、他者意識や自己肯定感を高め、さらにコミュニティ・スクールを生かした地域の方とのふれあいを通して、多様な他者を大切にすることを培います。
○健康・安全
体力の向上を図り、人権や命を大切にしようとする心を育みます。

知立中学校

校長 村山 由久
生徒数 632 人
学級数 22 学級

本校の特徴

昭和22年に開校。79年目を迎える歴史と伝統に彩られた学校です。市の中心部に位置し、校庭に聳えるメタセコイア、140m超の廊下、遊歩道沿いの桜並木がシンボルです。
教職員の総意と信頼関係を基盤とした魅力ある教育活動を通して、「一人一人のよさをとらえ、活動を支え、力を伸ばす学校」を目指すとともに、「創造的で活力ある学校」「温かみのある学校」の実現に努力します。

今年度の挑戦

「一人一人がいきる学校 一人一人をいかす学校」
「創造的で活力ある学校」「温かみのある学校」
○「豊かな人間性」を育む教育
道徳教育や人権教育、特別支援教育の充実を図り、自己肯定感や自他を大切に育む姿勢、多様な考えを受け入れる姿勢など、豊かな人間性を育みます。また、生徒、保護者や地域の方々、教職員にとって温かみを感じ、居心地の良い学校を目指します。
○「確かな学力」を育む教育
学ぶことに興味関心を持ち、個性を生かして他者との協働によって考えを深め、知識や情報を関連付けて課題を解決する姿勢を育むとともに、自ら学ぶ意欲など、確かな学力を育みます。
○「健康な心と身体」を育む教育
授業や部活動を通して健康教育の充実を図り、病気や怪我に対する自らの健康状態を常に意識し、適切に管理できる資質や能力など、健康な心と身体を育みます。

竜北中学校

校長 尾崎 淳一
生徒数 741 人
学級数 25 学級

本校の特徴

開校49年目を迎える本校は、校訓『錬磨・創造』を基盤に、「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成を目指しています。
「チーム竜北」の生徒と教職員が、それぞれの「よさ」や「得意なこと」を発揮して活躍し、自分も周りの人も大切にできる、優しくて居心地のよい学校づくりを進めていきます。

今年度の挑戦 共に学び、共に育ち、共にたのしみ竜北中

「自分も大事、他人も大事」という価値観を体現し、一人一人が自分らしさを発揮できる学校」
○豊かな人間性を育みます
自他を大切に育む姿勢や命を大切に、人権を尊重する心、寛容の心、社会貢献の精神を育てます。
○分かる授業、個を生かす授業を行います
生徒の困りに寄り添うきめ細かな指導や、かかわり合い、認め合い、互いに学び合うことで、学びの「たのしさ」を実感できる授業を行います。
自己の成長を振り返り、ICTを効果的に活用しながら、生徒の学習意欲の向上、基礎基本の定着、協働的な学びの充実を図ります。
○「居場所づくり」と「絆づくり」に努めます
教職員は生徒の言葉に耳を傾け、生徒の気持ちを感じ、生徒を理解することに努めます。コミュニケーション活動を充実させ、温かい人間関係づくりに努め、全ての生徒が安心して過ごせる学校をつくりたい。

知立南中学校

校長 福井 信也
生徒数 606 人
学級数 22 学級

本校の特徴

昭和57年(1982)知立中学校から分離独立した市内3番目の中学校。旧知立町役場より移した閑院宮殿下御手植松や弓道場があります。多様なルーツをもつ生徒が、多様性や共生、人権を学びながら仲良く楽しい学校生活を送っています。令和6年度からコミュニティ・スクールの立ち上げとともに、南中花火大会の開催がスタートしました。独居老人宅へのドアノック活動をする「南中みまもる」など地域との活動の輪が広がっています。

今年度の挑戦

多文化共生社会を生き抜く生徒の育成

○「選ばれる南中生」
生徒の主体性を大切に、自他の命を尊び、自己有用感を持ち、明るく行動する生徒を育てます。そして、地域とともに地域に働きかけ、社会の一員として選ばれる南中生となるよう努めます。(コミュニティ・スクールの推進)
○確かな学力の定着と多様性・共生を生かした教育活動
生徒自身で計画し、活動する「NT」を新設。個別最適な学びの実現を目指し、分かる授業、楽しい授業、個を生かす授業を行い、基礎的学力の定着や活用・表現力の伸長、問題解決能力の向上に努めます。また、様々なルーツをもつ生徒の多様な考えや価値観を共有し、しっかりとしたコミュニケーションをとることができる生徒を、各教科の授業や道徳教育、人権教育、命を大切に育む教育で推進します。さらに、生徒会活動を活発にし、委員会活動を生徒会として生徒主体で活動します。
○共感のな人間関係を基盤とした生徒理解
生徒一人一人に寄り添い、不登校やいじめの対応を校内教育支援センターが中心となり、令和7年度から設置した教育支援ルーム「Nルーム」の運営を通してかかわりを大切にし、主体性を引き出しながら、共感的な人間関係の確立を図って生徒理解に努めます。